



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月5日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン

上場取引所 札

コード番号 9027 URL <https://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 橋本 潤美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 久保田 優

TEL 011-251-7755

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	56,500	2.2	2,839	13.3	2,801	14.5	1,736	20.7
2023年3月期第3四半期	55,263	6.3	3,274	7.6	3,275	5.7	2,189	1.4

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 2,051百万円 (9.9%) 2023年3月期第3四半期 2,278百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	301.81	
2023年3月期第3四半期	380.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,309	20,269	55.1
2023年3月期	35,448	18,994	52.9

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 20,017百万円 2023年3月期 18,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		45.00		75.00	120.00
2024年3月期		60.00			
2024年3月期(予想)				60.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	4.3	3,550	5.6	3,500	7.8	2,170	15.1	377.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,010,681 株	2023年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,256,986 株	2023年3月期	1,256,986 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	5,753,695 株	2023年3月期3Q	5,753,824 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、コロナ禍からの社会経済活動が正常化した一方で、燃料価格の高止まりや輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加していることに加え、長期化する物価上昇による消費の伸び悩みに起因する物量の減少により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2022年度から2024年度までの3年間を対象期間とする「中期経営計画2022」に基づき、2023年4月より販売を開始した新輸送商品「DDロジ」の展開をはじめ、さくらスマイル引越事業の拡販やEC事業の拡大、九州エリアをはじめとした取り扱いエリアの拡大や料金改定の取り組みにより営業収益目標の達成を目指すとともに、業務のIT化及び、車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組んでまいりました。

「DDロジ」は、ダイレクト (DIRECT) デリバリー (DELIVERY) ロジスティクスの略で、1パレット単位で発注された荷物を、環境配慮型紙パレットを利用し、最終納品先にダイレクトにお届けすることで中間の倉庫手庫・保管・積み替え・パレットの管理が不要となり、物流コストの削減や配送頻度減による人材不足の解消、CO<sub>2</sub>の大幅削減などにつながる規格定型輸送サービス商品です。1パレット単位のダイレクト輸送により、商品在庫の縮減、商品廃棄ロスを削減し、また、物流情報の一元管理により出荷から納品まで効率的な流通を実現します。

「DDロジ」は、軽量かつリサイクル可能な紙パレットで大量輸送が可能な点から、人手不足や環境配慮などの課題を解決し、物流改革に貢献する輸送サービスです。

当社グループ各社において、社員が能力を十分に発揮できるよう、職場環境、社内制度の整備に力を入れております。2018年度から3年かけて行った所定労働時間の1時間短縮や、2021年度より導入した会社が奨学金返済を引き受ける、奨学金返済支援制度などにより、社員が生活基盤を安定させ、業務に専念できる環境づくりを行ってまいりましたが、様々な物価が高騰する昨今の情勢や、2024年問題を控え人手不足が懸念される状況であることを踏まえ、「中期経営計画2022」の当初基本方針をさらに強化する内容として、2023年4月より、事業拡大を見据えたさらなる人財投資として、優秀な人財確保のための大卒初任給引き上げ（約15%増）や、社員の経済的負担軽減及び採用強化のための大幅な処遇改善を行っております。中でも、ドライバーについては最大15%程度の処遇改善を行ってまいりました。これにより必要なドライバーは十分確保できていると判断しており、また、労働時間の管理を強化する体制づくりを行ってきたことから「2024年問題」として懸念されているドライバー不足、労働時間規制には対応できていると認識しております。

今年度より新たに行った人財投資は「中期経営計画2022」策定時から社会情勢が大きく変化したことを踏まえて、基本方針では盛り込んでいなかった内容として追加したものであり、グループ人件費の約10%に相当する大きな投資になりますが、これまで増収増益を続けてきた当社グループの長期ビジョンの達成及びさらなる事業拡大への先行投資と位置づけ、非常に厳しい経営環境下での高い目標とはなりますが、「中期経営計画2022」の達成に向けて取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	55,263	56,500	1,237	2.2
営業利益 (百万円)	3,274	2,839	△434	△13.3
経常利益 (百万円)	3,275	2,801	△473	△14.5
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	2,189	1,736	△452	△20.7

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、物価上昇による消費マインドの低下などに起因する物量減の影響があったものの、大手取引先の取り扱い数量の増加や料金改定などにより、前年同期比12億37百万円増（+2.2%）の565億円となりました。一方、営業利益は、増収による利益効果はあったものの、2023年4月より行っているグループ従業員の処遇改善による人件費の増加及び、その他既存取引先の物量減影響などにより、前年同期比4億34百万円減（△13.3%）の28億39百万円、経常利益は前年同期比4億73百万円減（△14.5%）の28億1百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億52百万円減（△20.7%）の17億36百万円となりました。

地域別セグメントの業績は、以下のとおりです。

<北海道地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益(百万円)	15,824	16,169	345	2.2
セグメント利益(百万円)	730	603	△126	△17.3

<東日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益(百万円)	25,842	25,299	△542	△2.1
セグメント利益(百万円)	1,702	1,374	△328	△19.3

<西日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益(百万円)	11,614	12,495	881	7.6
セグメント利益(百万円)	595	557	△38	△6.4

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から8億61百万円増加し、363億9百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価額が増加したためです。

また、負債は、借入金の圧縮により前連結会計年度末から4億13百万円減少し、160億40百万円となりました。これらの結果、純資産は202億69百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は、前連結会計年度末から2.2ポイント上昇し、55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月6日発表値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,518	694
受取手形	183	188
電子記録債権	601	706
営業未収入金及び売掛金	9,305	9,895
棚卸資産	97	129
その他	1,130	1,713
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	12,832	13,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,064	2,898
機械装置及び運搬具（純額）	8,255	7,996
土地	6,785	7,087
リース資産（純額）	73	84
その他（純額）	550	517
有形固定資産合計	18,730	18,584
無形固定資産		
投資その他の資産	348	436
投資有価証券	1,308	1,806
繰延税金資産	340	308
差入保証金	1,422	1,395
その他	554	542
貸倒引当金	△90	△88
投資その他の資産合計	3,536	3,963
固定資産合計	22,615	22,984
資産合計	35,448	36,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	8	-
電子記録債務	110	182
営業未払金及び買掛金	5,462	5,729
短期借入金	3,427	3,385
リース債務	50	41
未払法人税等	713	309
役員賞与引当金	93	-
その他	2,321	2,879
流動負債合計	12,189	12,527
固定負債		
長期借入金	3,394	2,504
リース債務	28	50
繰延税金負債	104	158
役員退職慰労引当金	280	323
退職給付に係る負債	279	308
資産除去債務	11	11
その他	165	155
固定負債合計	4,264	3,513
負債合計	16,453	16,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	592	592
利益剰余金	18,685	19,644
自己株式	△1,439	△1,439
株主資本合計	18,837	19,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102	220
その他の包括利益累計額合計	△102	220
非支配株主持分	258	251
純資産合計	18,994	20,269
負債純資産合計	35,448	36,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	55,263	56,500
営業原価	49,818	51,157
営業総利益	5,444	5,343
販売費及び一般管理費	2,170	2,503
営業利益	3,274	2,839
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	59	49
寮収入	46	45
受取補償金	4	-
その他	86	63
営業外収益合計	198	158
営業外費用		
支払利息	40	27
寮支出	103	106
車両除売却損	44	45
その他	8	16
営業外費用合計	197	196
経常利益	3,275	2,801
特別利益		
固定資産売却益	40	0
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	40	0
特別損失		
固定資産除売却損	58	100
投資有価証券評価損	24	-
特別損失合計	82	100
税金等調整前四半期純利益	3,233	2,701
法人税、住民税及び事業税	959	960
法人税等調整額	87	11
法人税等合計	1,047	972
四半期純利益	2,186	1,729
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,189	1,736

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,186	1,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	322
その他の包括利益合計	92	322
四半期包括利益	2,278	2,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,281	2,058
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	15,824	25,842	11,614	53,280	1,971	55,251
その他の収益	—	—	—	—	11	11
外部顧客への営業収益	15,824	25,842	11,614	53,280	1,983	55,263
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,987	583	367	4,938	2,582	7,520
計	19,811	26,425	11,981	58,218	4,565	62,784
セグメント利益	730	1,702	595	3,028	911	3,940

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は682百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,028
「その他」の区分の利益	911
受取配当金の消去	△682
その他の調整額	16
四半期連結損益計算書の営業利益	3,274

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	16,169	25,299	12,495	53,964	2,524	56,489
その他の収益	—	—	—	—	11	11
外部顧客への営業収益	16,169	25,299	12,495	53,964	2,535	56,500
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,860	545	371	4,777	3,006	7,783
計	20,030	25,845	12,866	58,742	5,542	64,284
セグメント利益	603	1,374	557	2,535	1,153	3,689

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は871百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,535
「その他」の区分の利益	1,153
受取配当金の消去	△871
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業利益	2,839